

新しい友だちと校しや

昭和五十年年度 四年 男児

ぼくたちは、一年生から二年生までは、おんぼろ校舎の教室にいました。特に、一年生のときは、すごく古い二中のままでした。だから、トイレなどは、暗くなるど気味が悪いので、みんなが、「おばけ便所」といって、こわがっていました。それから、その向かいにも、戸の開かない所がありました。しかも、戸にがいこつやゆうれいなどの落書きもしてあったので、みんなが、「ゆうれいいったんでねが。」といううわさもたちました。

二年生になって、鉄きん校舎を建て始めました。ぼくは、「早く、建たないかなあ。」と、待ち遠しく思っていました。

三年生になって、はじめて新校舎に移ることにになり胸がわくわくしました。何から何まで新しく、とてもうれしかったです。家に帰ってからも、うれしくて、おとうさんやおかあさんに、新しい校舎の話をお話をたくさ

んしてあげました。でも今は、二年生で新校舎に入れるので、ちょっぴりくやしい気持ちです。また、三年生のとき、学区へんせいで、浜田小学校からたくさんのお友だちが来ることになったので、四年生になったら組がえをすると聞いて、少し心配になってきました。それは、「友だちが少なかったらどうしよう。」とか、「けんかをして、友だちになれなかったらどうしよう。」などです。でも、「どんな友だちがくるのかな。」「知っている人はいないかな。」などと考えると、楽しみもありません。それから、「どんな教室だろう。古い鉄きん校舎より新しい校舎に入りたい。」と思っていました。

とうとう四年生になりました。ぼくたちの学校は、今とても大きな学校になりました。前は、二組だったのが、一年生から五年生までは四組になり、六年生も三組になりました。ダンボーもついているし、ろうかも、前とくらべると、とてもよくなって、そうじもしやすくまりました。みんな新しくなったような気がしました。

新しい友だちと顔を合わせた時、赤塚君を見たことがあるような気がしました。よく思い出してみると、

入学前に、浜田小学校で、知能検査をしたときいっしょになって少し友だちになったような気がします。話してみると、やっぱりそうでした。今は、友だちもたくさんできました。ただ、前からの友だちが、他の組より少なかったので、最初は少しいやでした。

来年、また学級がふえるので、今、もっと新しい校舎を建設中です。ぼくは、おりかもしれませんが、もっともっと大きな学校になればいいと思います。

この前、新橋に学校ができるかもしれないと聞きました。ぼくは、できない方がいいと思います。それは、せっかくできた友だちが、またいなくなるとさびしいからです。百年位たつまで、このままでいれればいいと思います。